

一宮町 行政報告

一宮町長
馬淵昌也

2017年12月17日

一宮町の概観

- 海・山・農地・川・伝統的市街地とモダンな市街地といった、多様な自然・人文環境が狭い中に共存した町
- 三つの顕著な社会的要素 + α
 - ① 東京のベッドタウン
 - ② 基幹産業としての農業
 - ③ サーフィンの好適地
- + α 玉前神社と周辺商業地・加納藩・別荘地・洞庭湖などの歴史的文化的遺産の集積

一宮町の特徴 人口数を維持

- 人口は約1万2千で横ばい、子供数も増加中—外房では例外 一定の流入者の存在

その原因

○外房線の利便性

東京方面へのアクセスのよさ 特急1h, 快速1.5hで
東京駅と直結

毎時1本以上の便数

快速の始発終着駅

○海岸のサーフィン(若年層)、西部の里山(シニア層)の移住誘引性

○土地の相対的安さ 一坪10万が最高値

- 移住者6割、元来の住民4割 移住者の割合の高さ

一宮町の行政的課題と取り組み

①オリンピック関係

- 2020東京オリンピックサーフィン競技
世界で初めての開催
- 一宮町釣ヶ崎海岸が会場となる
- 2020年7月24日の開会式からさほど置かずに、2日強の日程で実施
- 男・女それぞれ20人、総勢40人の競技者
- ISA (international surfing association) が競技については権限をもつ
- 有料エリアが閉じた形で設定される

会場整備について

- 会場は、釣ヶ崎祭典場の町有地を挟んで、南北の県有保安林を使用する。
- 殆どの設備は仮設、町有地及びその両側に組織委員会が設営の予定。大会後は松林に戻す。
- 町の任務：釣ヶ崎町有地の南に接して、約1haの県有保安林を解除して県が駐車場と芝生広場からなる自然公園を設営する。その園地にトイレ他の機能を有する建物の設営を予定（現在設計入札段階）
海岸広場のトイレより大きめの施設。鳥居との調和を考えて設計。
5000万円以下の予定。
外部資金の獲得に努力中。
- 釣ヶ崎祭典場への進入路は県有保安林が解除され、拡幅される予定。（工事は町負担）。

大会運営について

- 宿泊・セキュリティー・医療・輸送などについては、組織委員会が担当し、町はサポート役の予定。
- イベントについては、町がある程度担当を求められる可能性あり。数日にわたって、有料エリアで行う必要があると考えられる。(地元文化の演目)
- ボランティアについては、大会ボランティア(組織委員会・会場内)・都市ボランティア(千葉県・会場外)があるが、都市ボランティアの部分は町が関与する可能性あり。

オリンピックに向けての対応について

○ハイレベルのサーフィン大会、3年前イベント、フラッグツアーなど、オリンピック関連行事を実施済み。ポスター、街灯掲出用フラッグを作成済み。

町では、英会話教室実施中、県のボランティア養成教室実施済み。

ロゴマークや用語の使用規則が厳しく、使い方が難しいという問題あり。

○今後、オリンピックに向かって町内に機運を更に醸成する営みの必要性あり。

○オリンピックで一宮町に集まる内外の来訪者の注目を地域全体に広げる必要性あり。

○正確な情報を共有し、町内外の幅広い助力を仰ぐ必要性あり。

⇒町内の連絡協議会の設置、長生・夷隅全域に及ぶ地域連絡協議会の設置、九十九人委員会の設置。

一宮町の行政的課題と取り組み

② 駅周辺整備(1) 東口開設関係

- 東口開設に関わるJRの基本調査終了、正確な金額の提示あり。
- 工事費は、7億3256万円と算出。これに外付けエレベーター費用を加える。
- 仕様は、東口から階段であがり、上でスイカで通る形。券売機は無し。
- 日常的管理の形は現在検討中。
- 町では、経済的主体のお立場の方々のご意見を伺いたく、世帯主3000名へのアンケート実施。1572名の方から回答を頂く。費用負担の妥当性への感触を調査。費用負担を抑えた上で建設を希望、49.6%。妥当な負担額は5億円との回答が最多。

東口開設への町の対応

- 総額は小さくない額。町の庁舎建設に匹敵する額。しかし、オリンピック対応のみならず、長期的にも町の維持発展に資する可能性があると考えます。
- 町の負担をできるだけ小さくする努力をした上で開設する可能性を模索中。
- 補助金・寄付金・ふるさと納税・起債（10年分割）などの組み合わせによる負担軽減を可能な限り図る。
千葉県を筆頭に、外部の資金援助を獲得すべく現在鋭意努力中。財政負担の大幅軽減を実現して建設に進みたい。来年1月に進退決定の予定。
町の「駅周辺整備基金」1億3千万円は原資の一部に使いたい。なお、費用の支払いは3年に分割されて行われる。

一宮町の行政的課題と取り組み

② 駅周辺整備(2) 神門踏切拡幅関係

- 町から県へ要望を行ったが、県で検討の上、現在JRと協議中。
- 県の事業なので、本事業に関して町の負担は生じない予定。

一宮町の行政的課題と取り組み

③外部と町をつなぐ道路関係

○グリーンライン 圏央道からの進入・脱出ルートとして不可欠。県・国・国会議員の方々に対して頻繁な(たとえば2017年11月は、県に2回、国に1回)要望提出を行っている。

現在工事中のルートの早期完成をめざす、とのこと。その先については、いまだ進展なし。

○南総一宮線バイパスについても、同様に県に要望中。

一宮町の行政的課題と取り組み

④産業関係

- まちづくり会社の設立と、地方創生資金の運用による「すずみね」設営(全額国費)。商店街の再生の一助。現在お試し店舗に2会社が入居中、飲食店も新規開店予定。順調な滑り出し。
- 地方創生資金の運用により、駅前観光案内所＋物産直売所を設営中。4月にオープン予定。町が建設費の半額を負担。テナントを2件予定。農業・商工業・観光の結節点としての機能を期待。
- JA長生と協力しての新規営農者支援体制の構築を予定。

一宮町の行政的課題と取り組み

⑤国際化強化

- 中国からの一日留学生の小学校での受け入れ(28年度)
- ホームステイ受け入れ 台湾からの修学旅行生の来訪。
- 国際交流員の受け入れ(クリストファー・ソト氏・秘書広報課)
- 中学生のオーストラリア短期研修派遣継続。
- 中学生の英語検定試験受験補助。
- 学習院大・グローバルキャンパスアジア研修受け入れ(28年度)、千葉大・アリストテレス大研修受け入れ。

一宮町の行政的課題と取り組み

⑥防災力強化

○一宮町は、海・川・山があり、豊かな自然がある。⇒
防災の課題も多い。

(1)海の津波対策 海拔6.5mの土塁を県が建設中。
今後、一宮海岸に及ぶ予定。

○津波避難計画策定。

○全町的避難施設整備計画の作成を予定。(避難タワー、避難山などを含む)

(2)海の侵食対策 一宮町は、新規構造物は作らず、
砂の投入による養浜で対応する県の方針。

- (3) 一宮川の津波対策 河岸の堤防かさ上げ工事を中の橋まで漸次進めてゆく予定。8月26日に住民説明会を実施。
- (4) 避難道路の確保 宮原一船頭給一海岸に抜ける天道跨線橋通りの国費補助による拡幅を継続して実施。

一宮町の行政的課題と取り組み

⑦子育て・教育関係

- 一宮どろんこ保育園の開園。町との連携を確保している。
- 原保育所のいちのみや保育所への改称。順調に推移している。
- 生徒児童の、屋外における犯罪に対する安全確保のためのマモルックモニター事業を実施。今後、こうした児童の安全確保システムについて更なる検討を行い、導入を考える予定。
- 増加した学童保育希望者受け入れのため、一宮小学校内に新規スペースを開設。
- 旧一宮保育所跡地をコミュニティーセンター的に利用する構想検討中。
- 小学校・中学校(一部)にエアコンを設置。

一宮町の行政的課題と取り組み

⑧高齢者福祉関係

○2018年3月1日に、船頭給の一宮喜楽園が開園の予定。

オリンピックのレガシー確保について

- 現在のレガシー案は、自然公園とトイレ施設のみ
- オリンピック会場に隣接する、国道128号と県道飯岡一宮線合流点付近に、経済活動の拠点を確保することが理想的という意見も以前からある。
平成17年度の調査で、平日・休日13000台/12hという交通量が報告されている。
- 民間活力を借りながらの設営が理想的。
- 今後、何らかのアイデアがまとまれば、議会におはかりする。

3. 西側里山部の利用拡大

○洞庭湖などをつなぐ尾根道の再構成と、雑木伐採、花木植栽と管理

○いすみ・睦沢方面との連携

4. 玉前神社周辺商業地の観光消費への転換 角八・かね吉・赤七屋・寿家本家・すずみねの 先行とその成果

○あとに続く店舗のサポートと、参道商店街の形成、電線地中化をはじめとする歴史的特色を維持した快適な空間の確保

5. 公営設備更新・新設(中学校舎や公民館の更新、図書館や資料館の新設など)
6. 防災(海岸部一時避難所の更なる確保、海岸から山側に退避する道路の更なる確保など)
7. 教育(学力向上、外国語教育の強化、アクティブラーニングの導入など)
8. 農業振興(新規加工品の開発と販路確保、新規就農者の確保など)

ほか、多くの課題があります。ひとつひとつ取り組んでおりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

- 今後続く中長期的課題

- 1. サーフィンに関する課題

- サーフィンのイメージ向上の必要性

薬物や刺青などとの親和性⇒スポーツとしてのサーフィンのコンセプトで、ルール重視、精神性の重視などを織り込む

「世界サーフィン保護区」への申請

- サーフィン愛好者の裾野拡大の必要性

海に親しみを感じる人の減少 二十代以下のサーファーの少なさ⇒初心者も暖かく指導するシステムを作る

- サーファーの消費額の拡大の必要性

個々のサーファーの消費額の小ささ⇒海外からのサーフィン客の導入？

- 駐車場・トイレ・シャワーの整備